

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)

【公表番号】特表 2009-524912 (P2009-524912A)

【公表日】平成 21 年 7 月 2 日 (2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報 2009-026

【出願番号】特願 2008-552491 (P2008-552491)

【国際特許分類】

H 0 1 M 8/02 (2006.01)

H 0 1 M 8/24 (2006.01)

H 0 1 M 8/06 (2006.01)

H 0 1 M 8/10 (2006.01)

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 8/02 E

H 0 1 M 8/24 E

H 0 1 M 8/06 R

H 0 1 M 8/10

H 0 1 M 8/04 J

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 1 月 26 日 (2010.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発電機であって、

可撓性の燃料層 (1 2) を有する少なくとも 1 つの多層構造体 (1 0)、及び第 1 及び第 2 の可撓性の燃料電池層 (1 4、1 6) を備え、

前記燃料層 (1 2) が、第 1 及び第 2 の離間した側部と、その長さ又は幅のうちの 1 つよりも実質上小さな厚さとを有し、

前記燃料電池層 (1 4、1 6) が、前記燃料層 (1 2) のそれぞれの側部に位置し、前記燃料電池層 (1 4、1 6) の各々が、その電極長さ又は電極幅のうちの 1 つよりも実質上小さな厚さパラメータを有し、

前記構造体が、電気エネルギーを発生させ、10 ワット / リットルを越える電力密度を与えるように構成されることを特徴とする発電機。

【請求項 2】

前記構造体 (1 0) が細長く、実質上円筒形状に丸めることができることを特徴とする請求項 1 の発電機。

【請求項 3】

複数の実質上同一の多層構造体 (3 4) を含み、該構造体 (3 4) が直列又は並列に接続されたものの 1 つであることを特徴とする請求項 1 の発電機。

【請求項 4】

直列に接続された複数の構造体が 10 ワット / リットルを越える電力密度を有し、並列に接続された複数の構造体が 10 ワット / リットルを越える電力密度を有することを特徴とする請求項 3 の発電機。